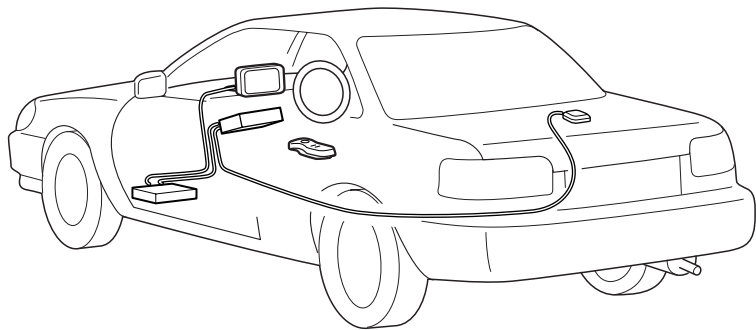


取り付ける前に

設置しようとする場所に置いてみて、操作のしやすさを確認してください。



ご注意

- 次のような場所への取り付けは避けてください。
 - 高温になるところ。
 - 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ。

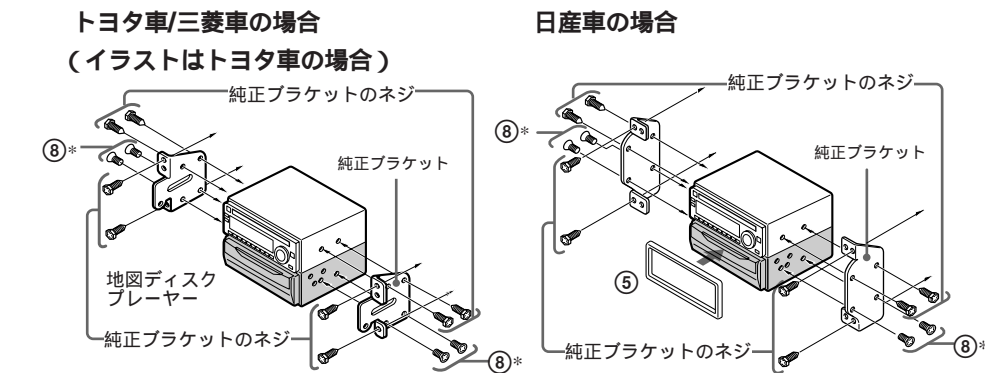
地図ディスクプレーヤーの取り付け

センターコンソールやインダッシュに取り付ける場合

お車がトヨタ車、日産車、三菱車以外の場合は、別売りの取り付けキットが必要です。お買い上げ店にご相談ください。取り付けの際は、水平20°以内に貼り付けてください。

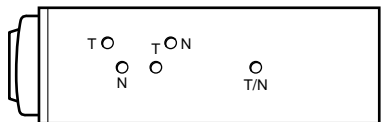
地図ディスクプレーヤーを取り付ける。

接続例を参照して、センターコンソールやインダッシュに取り付けてください。



ご注意

- 地図ディスクプレーヤーの上部に物をささみ込まないでください。
- 純正ブラケットを地図ディスクプレーヤーに取り付けるとき、地図ディスクプレーヤー側面に刻印されている〔トヨタ車/三菱車用〕N〔日産車用〕マークにブラケットの取り付けネジ穴を合わせて、付属の血ネジ⑩で取り付けてください。

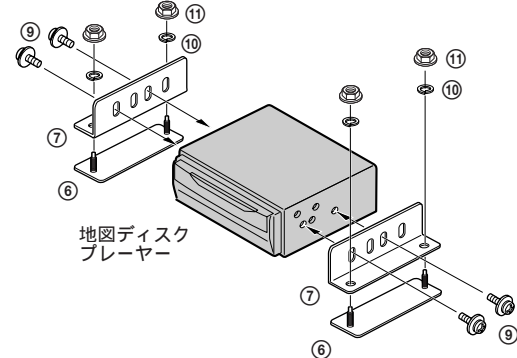


*必ず付属の血ネジ⑩で取り付けてください。他のネジを使用すると故障の原因になります。

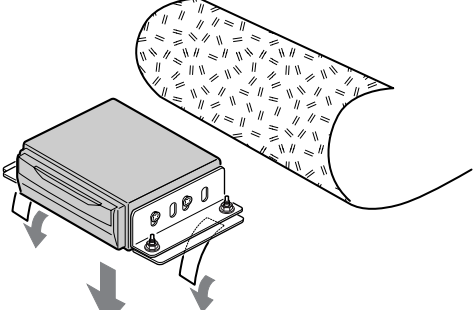
助手席の下やトランクルームなどに取り付ける場合

横置き位置で水平20°以内に、また、地図ディスクの出し入れが容易な所に取り付けてください。

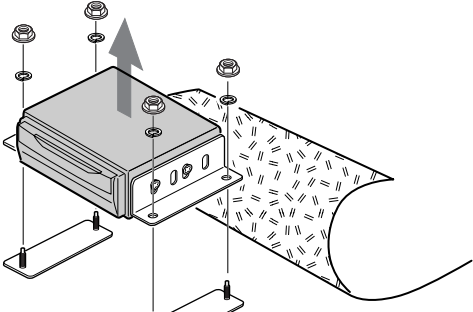
1 地図ディスクプレーヤーに取り付け金具を仮止めする。



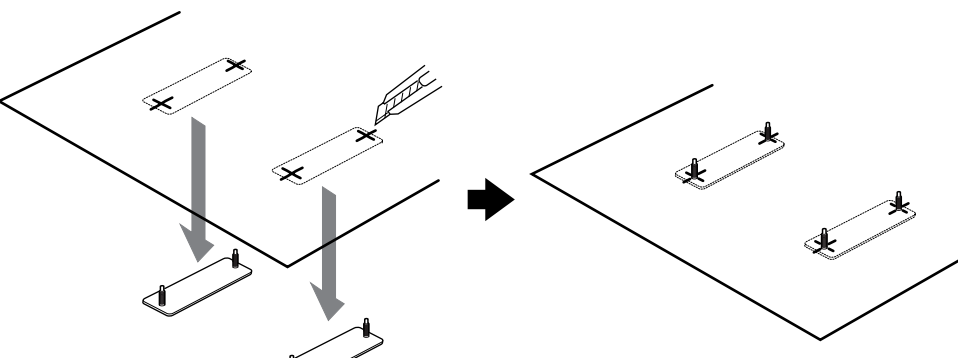
2 カーベットのを外して金具を固定する。



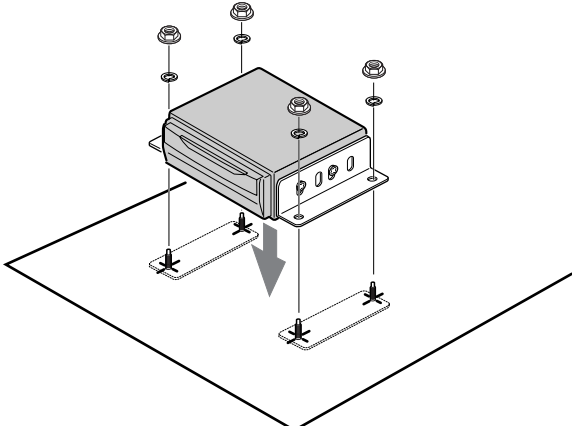
3 地図ディスクプレーヤーを取り外す。



4 カーベットの穴をあけてかぶせる。



5 地図ディスクプレーヤーを固定する。



ご注意

- トランクルームに取り付ける場合は、付属の電源延長ケーブル⑨のかわりに別売りの電源延長ケーブルRC-129P(5m)をお使いください。
- 必ず付属のネジ⑩で取り付けてください。他のネジを使用すると故障の原因になります。

TVチューナーユニットの取り付け

助手席の下などに取り付けてください。

- ご注意
 - 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところへの取り付けは避けてください。
 - ナビゲーションシステムと組み合わせてお使いになるときは、TVチューナーユニットと地図ディスクプレーヤーは、できるだけ離して設置してください。ナビゲーションシステムの近くに設置するとテレビ画像に影響することがあります。

マジックテープ⑭でカーペットなどに取り付ける。

取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。

トランクルームに取り付ける際は、以下の別売り延長コードをご使用ください。

- モニター延長コード RC-116M(4m)
- 電源接続コード RC-129P(5.5m)

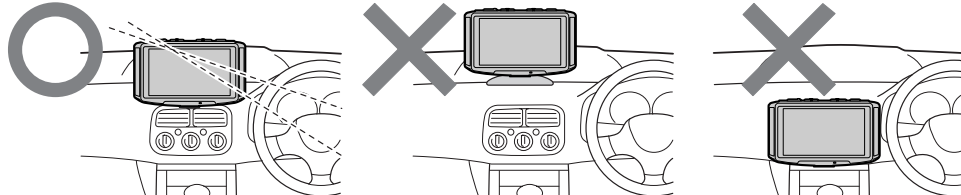
モニターを取り付ける前に

モニターは、安全性を重視して設計されており

ます。正しい位置に確実に取り付けを行わないと、事故の原因となり大変危険です。取り付けの前に、必ず下記事項の確認を行なってください。助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付けてください。

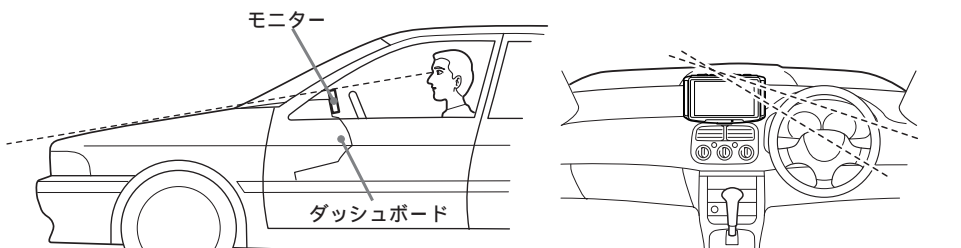
取り付け位置

前方視界を妨げることがなく、また運転中極端に視線を動かさずにすむように、ダッシュボードのなるべく高い位置に取り付けてください。



取り付け位置のポイント

- 運転者から見たときに、モニターがボンネットの先端よりも上に出ない。
- 極端に視線を下げる位置に設定しない。

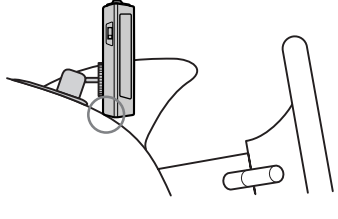


取り付け例

車の振動などによるぐらつきを防止するため、モニターの底面がダッシュボードに接触するように取り付けてください。

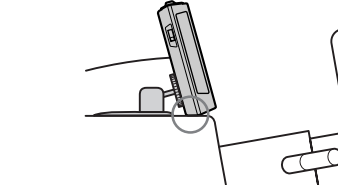
ダッシュボードが曲面の場合

モニター底面をダッシュボードにあてて固定する。



ダッシュボードが平面の場合

モニター底面をダッシュボードの平面にあてて固定する。



ご注意

- モニターは極端に低温または高温になる場所には取り付けしないでください。(キャビネットの変形や液晶パネルの故障の原因になります。)また、直射日光下の車内はかなりの高温になりますので、日光が直接当たらないようにしてください。
- モニターを取り付けるときは下記の明るさ検知部を覆ったり、ふさいだりしないよう取り付けてください。

モニターの取り付け

「モニターを取り付ける前に」の項目をご覧のうえ、設置しようとする場所で正しい取り付けができることを確認してから取り付けを行ってください。

1 ダッシュボードの形状に合わせて、スタンド⑯を曲げる。

曲げすぎて、スタンドが浮かないようにご注意ください。

2 クリーニングクロス⑮で取り付け面の汚れを取る。

3 両面テープのはくり紙をはがし、貼り付ける。

ご注意

- 取り付け面の表面温度が低い(20°C以下)と両面テープの接着力が弱くなるので、ヒーターなどで温めてから貼り付けてください。また、24時間以上経ってからモニターの取り付けを行ってください。
- 取り付けたあとに両面テープをはがすと、接着力が弱くなり危険です。十分に位置を決めてから確実に取り付けてください。
- 取り外すときは、取り付け面を温めてからゆっくりはがしてください。

4 固定用ネジ⑰で固定する。

ご注意

取り付けた状態でネジの先端がダッシュボード内部の配線などに当たっていないことを確認してください。

5 スタンドカバー⑰を接着する。

6 モニター背面のみぞにスタンドのネジを差し込み、高さを決める。

車の振動によるぐらつきを防止するため、モニターの底面がダッシュボードにあたるように高さを調節してください。調節後はネジを締めて固定します。

7 レバーをゆるめて角度を調節する。

調節後はレバーをしっかり締めて固定します。

FMトランスミッターアンテナの取り付け

運転の妨げにならない場所に取り付けてください。

コードは乗り降りの妨げにならないように処理してください。

両面テープ⑱でシート側面などに取り付ける。

取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。

ご注意

- 取り付けるときは、電源をOFFにしてから行ってください。
- 放送局の送信アンテナに近い場所や、車内のFMアンテナの位置によって、また、断熱ガラスを用いた車両では良好に受信できない場合があります。
- 出力はステレオです。

取り付けたら(動作確認について)

次の手順でカーオーディオからテレビの音声が出ることを確認してください。

- 1 モニターのPOWERスイッチを入れる。
- 2 FMチューナーの電源を入れる。
- 3 周波数を合わせる。

FMトランスミッター周波数切り換えスイッチで、設定した周波数(76.7MHzまたは78.7MHz)に合わせます。詳しくは、テレビ取扱説明書の「カーオーディオで音声を聞く」をご覧ください。

TVアンテナについて

取り付ける前に

- 必ずリアウィンドウに取り付けてください。
- 車のラジオ用アンテナや、パワーステアリング無線、アマチュア無線、自動車電話などのアンテナから離して取り付けてください。近くに設置すると、他のアンテナの影響を受ける場合があります。
- エレメントが車体より出ない所を選んでください。目に当たるなどして大変危険です。
- なるべく平らな部分に貼り付けてください。ガラス面がついて、はがれる危険があります。
- 湿気の多いとき(雨、霧など)の高いときは、貼り付け面を十分に乾燥させてください。取り付け面に水気があると、接着力が低下し、はがれる危険があります。
- 取り付け面の温度が低いときは、接着力を上げるため、車内ヒーター、リアウィンドウデフォグ、ドライヤーなどを利用して、温めてから貼り付けてください。
- アンテナの左右を確認して取り付けてください。

取り付けたら

- すぐに走行しても問題はありますが、24時間は水をかけたり、雨にあてたり、無理な力を加えないでください。
- 走行前に、確実に固定されていることを必ず確認してください。
- 取り付け後は、取り付け状態を時々点検してください。
- 自動車洗機の使用は避けてください。
- アンテナ本体、エレメント、ケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン、ワックスなどで拭かないでください。(変形、破壊の原因になります。)
- 次のような場所では、映りにくくなります。
 1. ビルとビルの間
 2. 高圧線、送電線付近
 3. 飛行機が近くを飛んでいる場合
 4. 電車が近くを走行している場合
 5. 山中や放送局から遠い場所
 6. トンネル内
- 7. ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナ付近

取り付けかた

1 不織布⑲にクリーナー液⑲を染みこませ、貼り付け面に付着している油、ワックス、ほこりなどの汚れを拭きとる。クリーナー液が乾いたら水で洗い流し、乾いた布で乾拭きする。

2 アンテナから取り付け金具をはずし、貼り付け面に合わせて折り曲げる。

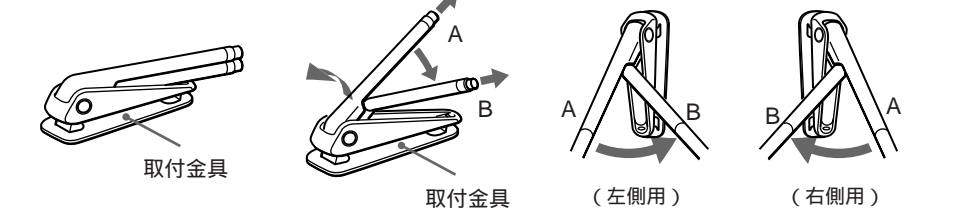
取り付け金具と貼り付け面の間にすき間がないことを確認してください。

3 取り付け金具裏面のはくり紙をはがして貼り付ける。

接着面に手が触れたり、貼り直しをすると接着力が低下しますのでご注意ください。

アンテナの使いかた

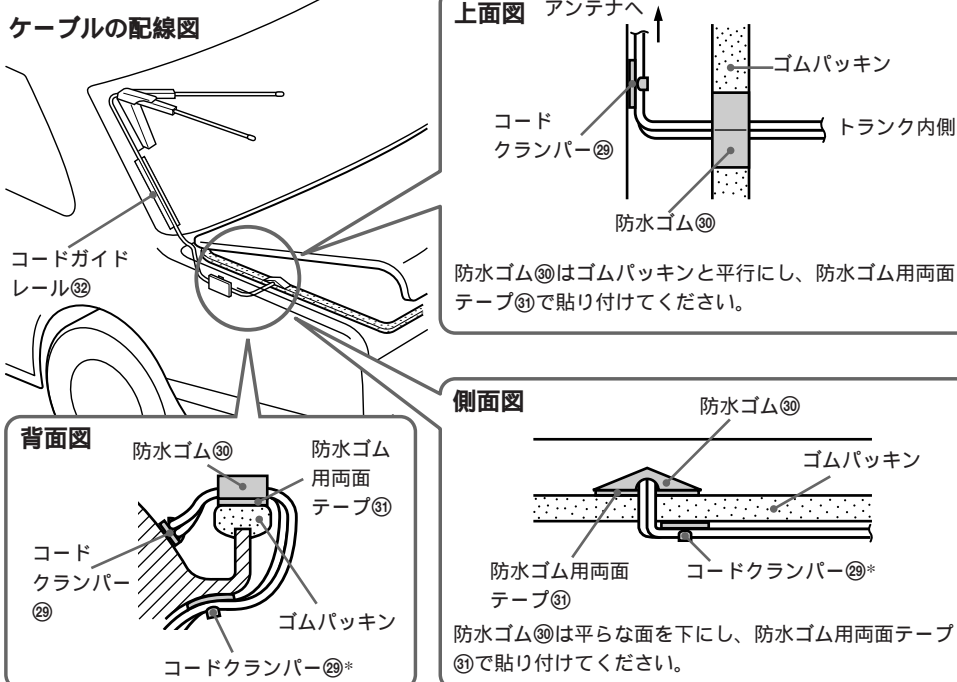
アンテナ本体を起こしてから、エレメントAおよびBの各段をいっぱいにはし、エレメントBを内側へ倒します。(取り付け場所によってはアンテナの性能が劣化する場合があります。)



アンテナコードの配線

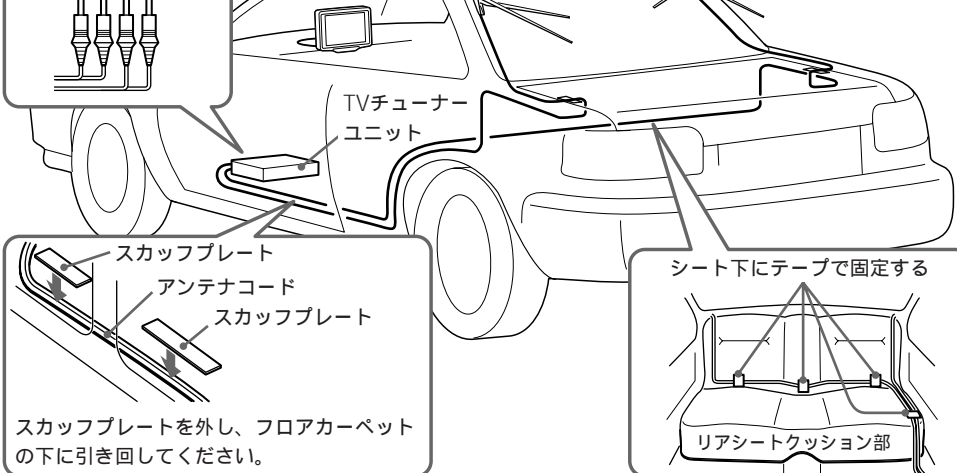
配線をする前に

- アンテナコードの配線位置は、高熱部を避けてください。
 - 車の雑音を受ける場合がありますので、コードは車側の配線類から離して設置し、配線処理も確実に行ってください。
- 雨水などの侵入を防止するため、コードの車室内への配線には十分注意してください。



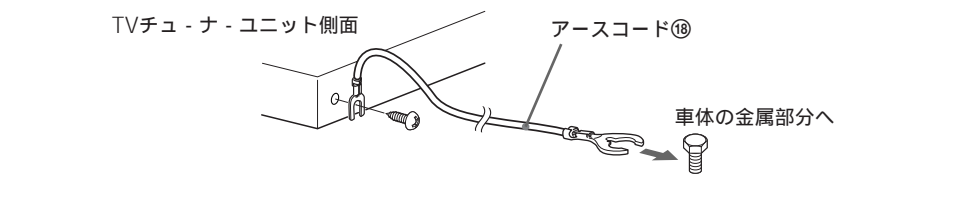
TVアンテナ入カへ

*このコードクランパーは必ず防水ゴムより低い位置に取り付けてください。トランク内への水漏れの原因となります。



ラジオ受信時の雑音を減らすには(一部車種)

FM/AMガラスアンテナを使用している車種では、TVアンテナ⑳をお使いになると、ラジオ受信時に雑音が入ることがあります。その場合、下图のようにア-スコド㉑で、TVチューナーユニットを車体の金属部分にア-スしてください。



GPSアンテナの取り付け

車外に取り付ける場合

GPSアンテナは、GPS衛星の電波が車のボディなどで遮られない場所(車外のルーフやトランクリッドなど)に、水平に取り付けてください。GPSアンテナは磁石で取り付けます。取り付けるときは、ボディを傷付けないように静かに置いてください。アルミやFRPボディの車に取り付ける場合アルミやFRPボディの車には磁石で取り付けられませんので、車内に取り付けてください。

1 トランクリッドなどの上に取り付ける。

取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。

2 トランクリッドの裏側に、クッションを取り付ける。

雨水がコードを伝わって車内に侵入しないように、トランクリッドの裏側にクッションを取り付けてください。クッションが当たるように取り付けてください。

ご注意

- コードを車外でたるませたままにしないでください。
- コードを固定するときは、必要に応じて付属のコードクランパー㉑をご使用ください。
- 取りはずすときにコードを引っ張らないでください。磁石が強力なため、コードが抜けることがあります。
- 自動車洗機で洗車するときは、アンテナを外してください。アンテナが外れて車のボディを傷付けることがあります。
- GPSアンテナケーブルは、GPSの信号とGPSアンテナへのDC電源が通っています。配線にあたっては、車体可動部へのかみ込みにご注意ください。ケーブルを破壊すると、GPSアンテナおよび本体(地図ディスクプレーヤー)の故障の原因となります。

アンテナの塗装について

アンテナは車のボディカラーに合わせて塗装できますが、金属粉が含まれる塗料(メタリック系の塗装など)は、受信感度の低下や受信不能の原因になるため使用しないでください。また塗装するときにアンテナを分解しないでください。

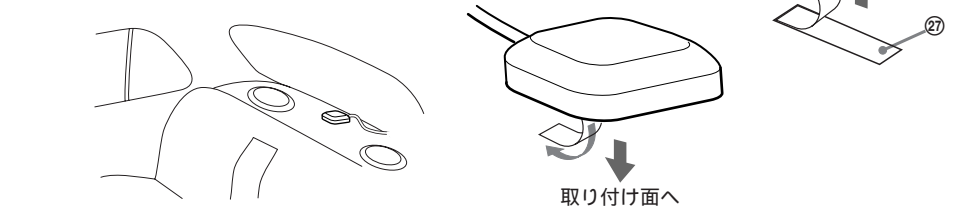
車内に取り付ける場合

- リアトレイやダッシュボードに取り付けます。
- 平らな位置に、アンテナが水平になるように取り付けてください。
- できるだけ角度が大きくなるような場所に取り付けてください。また、GPS衛星からの電波を遮るものがない場所を選んで取り付けてください。車内に適する場所がない場合は、車外のトランクの上などに取り付けてください。

1 アンテナに両面テープ㉒を貼り付ける。

2 はくり紙をはがして接着する。

取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



ご注意

一部のウィンドウガラス(フロント、リアとも)には、GPS衛星の電波を通さないものがあります。GPSアンテナを車内に取り付けて受信状態が不安定なときは、一度アンテナを車外に取り付けて受信してみてください。

リモコンの取り付け

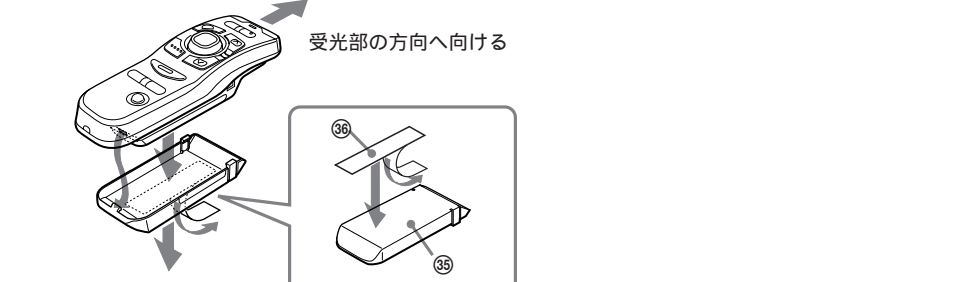
シフトレバーの脇などの操作しやすい場所に固定してください。

ご注意

- 次のような場所への取り付けは避けてください。
 - シフトレバーや、サイドブレーキなどの操作の妨げになるところ。
 - 運転席、助手席のシートの前後、上下など可動部の妨げになるところ。
 - ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の熱によって変形するおそれのあるところ。

リモコンと受光部が向き合うように、両面テープで取り付け。

クリーニングクロス㉓で、取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



ご注意

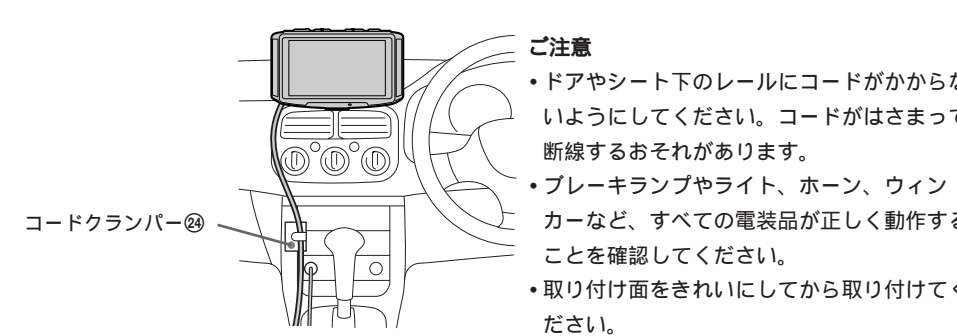
直射日光下ではリモコンの信号が受信されにくくなる場合があります。このようなときは、受光部にリモコンを近づけて操作してください。

取り付けと接続が終わったら

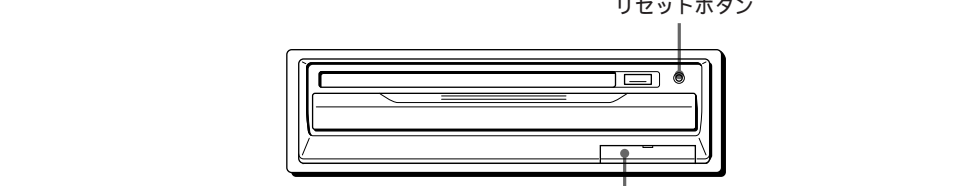
コードの処理について

取り付けと接続が終わったら、コードは運転の邪魔にならないようにまとめてください。コードがシフトレバーなどにからまると、非常に危険です。

1 助手席側にコードクランパー㉑で固定する。



2 車のキーをACCまたはONの位置にして、地図ディスクプレーヤーのリセットボタンをボールペンの先などで押す。



別売りのスタンドGM-500(11月発売予定)を取り付けることができます。